

# 医薬品の費用対効果評価の対象品目（2020年3月時点）

社保審 医療保険部会 2020年3月26日 資料3「改革工程表2019における検討項目について」をもとに作成

品目名	効能効果	価格	うち補正加算	市場規模	費用対効果の区分	中医協総会での指定日
①テリルジー (GSK)	COPD (慢性閉塞性肺疾患)	8,598円	782円 (10%)	236億円	H 1 (市場規模が100億円以上)	2019/5/15
②キムリア (ノバルティス)	白血病	3,349万円	277万円 (45%×0.2※)	72億円	H 3 (単価が高い)	2019/5/15
③ユルトミリス (アレクシオンファーマ)	発作性夜間 ヘモグロビン尿症	717,605円	35,880円 (5%)	331億円	H 1 (市場規模が100億円以上)	2019/8/28
④ビレーズトリエアロスフィア 56吸入 (アストラゼネカ)	COPD (慢性閉塞性肺疾患)	4,075円	なし	189億円	H 5 (テリルジーの類似品目)	2019/8/28
⑤トリンテリックス (武田薬品工業)	うつ病・うつ状態	168.9円	8円 (5%)	227億円	H 1 (市場規模が100億円以上)	2019/11/13
⑥コララン (小野薬品工業)	慢性心不全	82.9円	29円 (35%)	57.5億円	H 1 (市場規模が100億円以上)	2019/11/13

(注) 価格及び補正加算は四捨五入した値

(※) 加算係数（製品総原価の開示度に応じた加算率）・・・開示度80%以上：1.0、50～80%：0.6、50%未満：0.2

# (参考) 国内外で登場した高額医薬品

2019年11月1日財政制度分科会 「社会保障について②」参考資料を基に作成

薬剤の銘柄	薬価収載年月	効能・効果	費用
オプジーボ点滴静注	2014.9	非小細胞肺癌等	約3,500万円 (1年間の場合)
ハーボニー配合錠	2015.8	C型慢性肝炎等	約670万円 (12週間)
ステミラック注	2019.2	脊髄損傷に伴う機能障害等の改善	約1,500万円 (1回投与)
キムリア点滴静注	2019.5	急性リンパ芽球性白血病等	約3,350万円 (1回投与)

(出所) 中央社会保険医療協議会資料等に基づき作成。費用は新規収載時または上記効能・効果追加時のもの。体重は60kgを想定。

米国での製品名	米国での承認年月等	対象疾患	米国での費用
イエスカルタ	2017.10	リンパ腫	約4,000万円 (1回投与)
ラクスターナ	2017.12	遺伝性網膜疾患	約9,100万円 (両眼1回投与)
ゾルゲンスマ	2019.5 (日本:薬事承認申請中)	脊髄性筋萎縮症	約2億2,700万円 (1回投与)

(出所) 各社報道発表資料等に基づき作成。1米ドル=107円(令和元年11月中において適用される基準外国為替相場)